

障がい者における
スポーツ・運動の
創造とプログラムの実際

はじめまして

花岡 安彦(はなおか やすひこ)です。

- ▶ 大阪に住んでいます。
- ▶ L'Collegeおおさかに勤務しています。
- ▶ 福祉事業型（自立訓練）の知的障がい者が通う学校形式の施設です。
- ▶ スペシャルオリンピックス日本の活動にも協力しています。（フロアホッケー競技）
- ▶ 今日は、よろしく申し上げます。

本日の講義の流れ



要素・・・大切にしたいポイント

分類・・・種類・形式

支援の方法

ゲームづくり

「スポーツ・運動」の指導における 大切にしたい要素

- **レク・ゲーム、軽スポーツを想定して**
ルールが単純で明快(わかりやすい)
だれでも参加できる
楽しく、ワクワクした気持ち

本日の講義の流れ

要素・・・大切にしたいポイント



分類・・・種類・形式

支援の方法

ゲームづくり

分類について

ゲーム、スポーツの種類や形式

- ▶ 動きがある ⇔ その場で動かない
- ▶ 対戦型
 - ▶ 攻防入混じり ⇔ 区画独立型
- ▶ 対抗競争型
- ▶ 少人数 ⇔ 多人数・・・個人・グループ
- ▶ 用具道具を使用 ⇔ 準備物なし

本日の講義の流れ

要素・・・大切にしたいポイント

分類・・・種類・形式



支援の方法

ゲームづくり

支援の方法について

★集中しやすい環境整備

- ・余分な刺激や不安要素の排除

▶視覚的な支援

- ・カード(色・絵・イラスト・写真・文字等)
- ・カラーコーン・マーカー・ラインテープ
- ・ポール・旗・カラーマット
- ・ビブス・帽子
- ・ホワイトボード

支援の方法について

▶ 聴覚的な支援

- ・ハンドマイク(拡声器)、ワイヤレスアンプ
- ・音響セット(BGM・効果音)
- ・ホイッスル・音出し用楽器類

▶ 車いす対応

- ・スロープ・床マット(走路用)
- ・区画用ボード、ネット

指導上の留意点について

- ▶ 技量、体力に応じた内容
- ▶ 指導者、支援者の役割分担(適材適所)
- ▶ スタッフ間の意思疎通(テンポ良くスムーズな進行と安心感)
- ▶ 指導者、支援者はエンターティナー(これから始まることへの魅力と期待を感じさせる演出)
- ▶ 盛り上がって余韻を持って終わる(もう少しやいたいというところで終わる。)
- ▶ 満足感、達成感、自己肯定感(未経験、見通し
が持てない👉不安・緊張・意欲の低下)

本日の講義の流れ

要素・・・大切にしたいポイント

分類・・・種類・形式

支援の方法

ゲームづくり



ゲームづくりに挑戦！

1 テーマ

2 ゲーム名

3 参加対象人数

4 ゲーム形式

5 ゲーム方法

・ゲームスペース・進め方・ルール

6 指導者、支援者配置数

ゲームづくりに挑戦！

7 準備物

- ・ゲーム用具道具類
- ・参加者への支援対応

8 配慮及び留意点

- ・参加者に対して
- ・指導者、支援者間で共有する内容

では、
楽しいゲームを
考えてみましょう！